

KX-F130/F130BX/F2130基本操作

	取扱説明書 参照ページ
1 設置後の操作	
1-1. 日付・時間の設定	1-20～21
1-2. セットに会社名または個人名を入力します。 1-23ページの文字コード表を参照してダイアルボタンで文字を入力して下さい。 (例えば'ABC'であれば303132と入力して下さい。)	1-22～23
1-3. 電話番号を入力します。 上記3点は設定しなくてもFAXとして使えますが、送信記録を見たい 場合や送信相手に自分の電話番号や送信日時等を知らせるのに便利です。	1-24 1-25～26
2 基本操作	
2-1. 手動送信 原稿を下向きに挿入し、受話器をあげ(又はSP-PHONEボタンを押し) ダイアルボタンを使ってダイアルしFAXを送ります。 この時、電話をかけた後"ピー"という信号音を確認した後 スタートボタンを押して下さい。	2-4
2-2. 自動送信 原稿を下向きに挿入し、ワンタッチボタンを押すだけで登録された相手に FAXできます。 (短縮ダイヤル使用時はワンタッチキーの代わりにAUTO DIALボタン、2ケタの番号を 押して下さい。)	3-8
登録方法は下記参照ください。 ・ワンタッチボタンへの登録(1～12までのワンタッチボタン)	3-8
・短縮ダイヤルへの登録(00～19)	3-4
2-3. FAXの受信 受信モード(RECEIVE MODE)により以下を選択してください。	2-6～8
(1) 通常、電話として使っており会話中にFAX受信をしたい時 RECEIVE MODE をTELにしてください。 電話に一旦出てからSTARTボタンを押し、受話器を置いて下さい。 FAX受信します。	2-6
(2) 留守番電話とFAXを併用したい時 RECEIVE MODE をANS/FAXにしてください。 メッセージの中に'FAXを送りたい方はスタートボタンを押して下さい、 メッセージを残したいかたは信号音の後お話しください'旨を録音してください。 相手がFAX送信したら自動的にFAXを受信します。 また、メッセージ録音後もFAX受信可能です。	2-7
(3) FAXと電話兼用として使いたい時RECEIVE MODE をTEL/FAXにしてください	2-8
・相手から電話がかかって来たらベルが鳴ります。 その時はそのまま電話にでてください。(但し、ベル3回まで に受話器をとらなければ自動的にFAX受信状態に入ります。 このベル回数は8回まで延ばすことができます。)	4-33
また、電話にでたとき相手がFAXを送る意向がありましたら そのままSTARTボタンを押して下さい。FAXを受信します。	

・相手がFAXを自動送信していたら自動的に受信します。

(4) FAX専用として使いたい時
RECEIVE MODE をFAXにしてください 2-8
ベルが1回鳴った後自動的にFAXを受信します。
(このベル回数も4回まで延ばすことができます。) 1-30

3 その他の操作

3-1. RESOLUTIONボタンについて

通常はSTANDARD または FINEに設定下さい。
SUPER FINEは最も解像度が高いモードですが、相手機種が
KX-シリーズのFAXのみ有効です。
写真原稿送信時はHALF TONE に設定して下さい。

3-2. LIGHT ORIGINALボタンについて

送信したい原稿が薄い場合に押して下さい。

3-3. 留守番電話メッセージを録音する

左全面カバーを開けRECボタンを押した後、MICに向かって録音開始して下さい
終わりましたら再度RECボタンを押して下さい。
CHECKボタンを押せば録音メッセージを確認できます。

1-15

3-4. 記録紙の節約

PROGRAMボタン # 2 1 1 SETボタン PROGRAMボタンの手順により受信FAXを縦方向に50%縮小できます。

4-15 ~ 16

PROGRAMボタン # 2 1 2 SETボタン PROGRAMボタンの手順で解除できます。

以上、基本操作のみ記述しました。